

9/20 福

沖縄の基地負担増

翁長知事が懸念

沖縄県の翁長雄志知事は十九日、安全保障関連法が多くの米軍基地を抱える沖縄に与える影響について「沖縄の基地負担が増えることが容易に推測できる。沖縄の負担軽減ではなく、さらに強化するものが見え、大変憂えている」と懸念を示した。那覇市の那覇空港で記者団に答えた。

政府が安保関連法とともに、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設に伴う名護市辺野古への新基地建設も進めていることには「政府の強い姿勢は弱さを表している。浮足だっただけのことやると、将来に大変な禍根を残す」と批判した。

翁長氏は安保関連法の成立を受けて「採決が強行されたことは誠に残念だ。強引に押し進める政府の姿勢は容認しがたい」などとするコメントも出した。